

情報公開用文書

西暦 2024 年 9 月 20 日作成 第 1 版

2024-10

| | |
|--|--|
| 実施内容 | せん妄に対するシクレスト舌下錠の適応外使用について |
| 対象患者 | せん妄と診断された患者、およびせん妄が疑われた患者さん |
| 実施期間 | 承認後～永続的に使用（適応症が追加されるまで） |
| 概要 | <p>【目的・意義】</p> <p>せん妄は、もともとある病気に身体的・環境的な負荷が加わり、一時的に意識障害や認知機能の低下が起こる状態です。がん患者がせん妄を発症する頻度は低くなく、せん妄が起きた場合、原因に応じた環境調整や薬物療法を実施します。</p> <p>せん妄の代表的な薬物療法としてハロペリドール、リスペリドン、クエチアピン、ペロスピロンの 4 種の薬剤が挙げられます。これらは、社会保険診療報酬支払基金が公表している審査情報提供事例において、せん妄に対して処方された場合には審査上認めるとして、社会的にも認知されています。</p> <p>これらの薬剤を使用してもせん妄改善効果が得られ難い、または、使用できないときに抗精神薬であるシクレスト舌下錠を使用します。</p> <p>日本サイコオンコロジー学会、日本がんサポーターブケア学会編集の「がん患者におけるせん妄ガイドライン」にもせん妄を有するがん患者に対して、せん妄症状の軽減を目的として抗精神薬を投与することが提案されています。</p> <p>患者さん個々の症状や背景に応じて、適切な薬剤を選択し、薬物治療を実施したいと考えます。</p> <p>【予想される不利益と対策】</p> <p>各薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。副作用が出現した場合には、通常の診療にて対応し、必要に応じて専門医へ相談します。</p> |
| <p>当院の未承認新規医薬品等を評価する委員会において承認を受けた上記の治療について、対象者となられる方から同意をいただくことにかえて、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。本件について同意できない場合、この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意できないと連絡をいただいた場合においても、添付文書の定める範囲内での使用では安全に医療を提供できないと主治医が判断したとき、再度ご説明させていただくことがあります。</p> | |
| <p>問合せ先および適応外使用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地 静岡県立静岡がんセンター-RMQC 室（医療の質・安全管理室） 電話番号：055-989-5222（代表） または、担当医に直接お申し出ください。</p> | |